

3. ツシマムツボシタマムシ

*Chrysobothris samurai* OBENBERGER

1 ex., いわき市小川郷, 22. V. 1976

従来、樺太・満州・朝鮮、および日本からは、対馬・九州本土(大分県)・中国地方(広島・岡山県)から記録されていた種であったが、今回、一気に福島県まで分布が延びたことは驚きである。

広葉樹(シイ類)の枯枝のビーティングで得た。この個体は f. *samurai* とされる四紋型のものである。(写真右)

4. ムネアカチビナカボソタマムシ

*Nalanda rutilicollis* OBENBERGER

多数, いわき市江田, 4. VIII. 1976

従来、東京周辺以南で得られていたが、その食樹の関係から福島県の太平洋側にも分布する可能性が強い、と注意していたところ、同地のアカメガシワの葉上から多数得ることができた。北限の記録と思われる。

5. オオウグイスナガタマムシ

*Agrilus asiaticus igai* Y. KUROSAWA

1 ex., いわき市江田, 4. VIII. 1976

従来、関西地方から知られていた種で、最近では東京都下でも得られた(藤田, 1976)。土場に飛来した多数のウグイスナガタマムシ *A. tempestivus* に混っていた1頭を得た。北限の記録と思われる。

なお、筆者は1976年に同地で、ホソツヤヒゲナガコバネ・ヨコヤマトラ・クリストフコトラ・アメイロなどのカミキリやオオシマオビハナノミを採集している。これらの記録からみると、今後詳しい調査がなされれば、より興味ある種が記録される可能性が非常に大きいと考えられる。従来、阿武隈山地での採集は、その人為的開発の度合から、成果の少ないものと考えられていたが、上記の場所のような、阿武隈山地の東斜面の沢添いの場所(多くの場合、水源保安林として保護されている)を選べばかなり期待されるのではないかと考えている。

最後に、タマムシを同定して下さった黒沢良彦博士、また、カミキリ・タマムシの同定と種々の御教示をいただいた田添京二先生に深謝いたします。

(〒167 杉並区西荻窪北3-22-15 西窪コーポラス202)

先島諸島のナカボソタマムシ属覚え書

藤田 宏

先島諸島からは従来、ミドリナカボソタマムシ・タイワンナカボソタマムシの2種の *Coraebus* が記録されていたが、筆者はこれらとは別な2種の *Coraebus* を所持しているので報告しておく。また、タイワンナカボソタマムシを竹富島より初記録として報告する。

1. *Coraebus* sp.<sup>1)</sup>

1 ex., 石垣島オモト岳, 31. V. 1975, 深町宗通採集体長4.5mm。全身緑がかった銅色の *Coraebus* で、日本産本属中最小の種と思われる。他の日本産 *Coraebus* とは著しく外見が異り、亜属の異なる種と考えられる。

上記の他にも石垣島でいくつかの個体を得られている。

2. *Coraebus* sp.<sup>2)</sup>

1 ex., 石垣島オモト岳, 16. V. 1975, 深町宗通採集体長6mm。細い筒型の *Coraebus* で、本種も今まで本邦から知られていた *Coraebus* とはまったく異なる種である。全体に鈍い黄銅色で、上翅後半は黒色。翅端近くには2本の白い波状紋をもつ。この *Coraebus* は現在のところ、他に採集例がないようである。

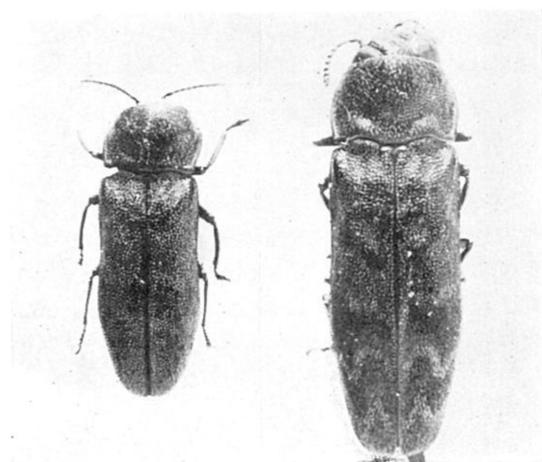
3. タイワンナカボソタマムシ

*Coraebus formosanus* MIWA et CHŪJŌ

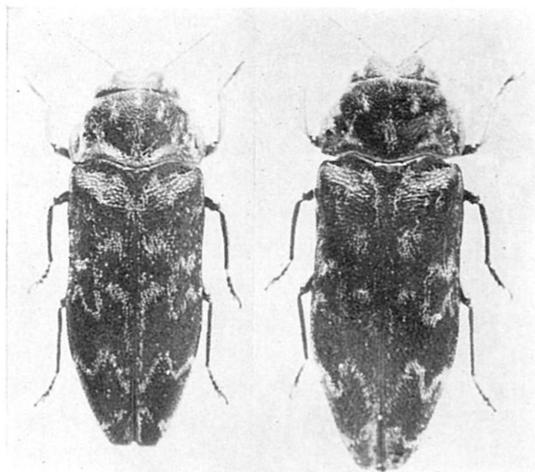
1 ♀, 石垣島バンナ岳, 28. V. 1974, 清野隆採集

1 ♂, 石垣島オモト岳, 26. V. 1975, 深町宗通採集

1 ♂, 竹富島, 28. III. 1976, 川田一之採集



左: *Coraebus* sp.<sup>1)</sup> 右: *Coraebus* sp.<sup>2)</sup>



タイワンナカボソタマムシ  
左: ♂(竹富島産) 右: ♀(石垣島産)

ごく最近、日本初記録種として秋山(1975)により琉球列島の奄美大島・沖縄本島・石垣島における採集例が発表された種で、同文では奄美の1♀、沖縄の1♀、石垣の2♀♀がそれぞれ記録されているが、稀な種と思われるので筆者の手元の標本のデータを報告しておく。秋山氏の記録は4♀♀で、♂は未見ということなので、♂の写真を添える。♂は♀に比べ体が細く、♀の頭頂・前胸背・上翅肩部および会合線付近が強い赤銅光沢を帯びるのに対し、上記の2♂♂はまったく赤銅光沢がなく、すべて青味を帯びた黒色である。また、上翅中央～後半の白い波状紋は個体により多少変化するようである。竹富島からは今回が初記録。

貴重な標本を恵与された深町宗通、清野隆、川田一之の各氏、および最近の日本～台湾産 *Coraebus* についての知見を教えてくれた秋山黄洋氏、標本写真を撮って下さった松香宏隆氏に感謝したい。

(〒110 台東区台東2-29-6)

### 房総半島のカミキリ2種

中村 俊彦

今夏、千葉県夷隅郡御宿<sup>おんじゆく</sup>において下記2種のカミキリを採集した。いずれも比較的少なく、興味のある分布を示すので、ここに報告する。

#### 1. ヒメビロウドカミキリ

*Acalolepta degener* (BATES)

1♀, 15. VII. 1976

#### 2. ハチジョウウスアヤカミキリ

*Bumetopia japonica heiana* HAYASHI

1♀, 15. VII. 1976

1. は海岸近くの砂丘上を歩行していた個体で、その日

は風が強く、吹き飛ばされて砂上に落下したものであろう。

2. はやはり海岸近くのササ(アズアネザサ)の叩き網で採集されたもので、本種の房総半島での採集例は少ないものようであり、勝浦における1例(石田正明, 1972)がある。今後、ササ類の叩き網により容易に得られる種と思う。

(〒175 板橋区高島平2-28-1 704号室)

### 屋久島でアカネトラカミキリを採集

矢野 立志



アカネトラカミキリ *Brachyclytus singularis* KRAATZ は朝鮮・中支那・シベリアの他、日本では北海道・本州・四国・九州における分布が知られていたが、島嶼部からの記録はなかったようである。筆者は鹿児島県熊毛諸島屋久島において本種を採集しているので報告しておく。

1♀, 屋久島宮之浦,

22. XI. 1975

ブドウの枯蔓中で成虫越冬していた個体である。

(〒734 広島市皆実町1-18-40)

### 箱根仙石原でヒメビロウドカミキリを採集

小田 義広

ヒメビロウドカミキリ *Acalolepta degener* (BATES) は本州では栃木県下・東京都小仏峠・三浦半島・昇仙峡・岐阜県下などにおける記録が知られているが、稀な種で、分布も局所的なようである。筆者は神奈川県下で本種を採集しているので報告しておく。

1♂1♀, 神奈川県足柄下郡箱根仙石原,

15. VII. 1976, 小田義広採集

仙石原の湿原で、アザミの葉を後食に集まるアサカミキリを採集していたところ、シオンに似たキク科植物?の葉上に止っていたもの。採集時間は2頭共午後3時頃、曇天で時々日照のある天気であった。

(〒253-01 神奈川県高座郡寒川町倉見1765)

### アカムネハナカミキリを表日光高薙山<sup>たかなぎ</sup>で採集

森島 直哉

アカムネハナカミキリ *Macropidonia ruficollis* PIC